【総論】

[目指すべき将来人口]

項目	素案(修正前)
総人口	モニタリング指標
社会増減数	n

案(修正後)	現状値	目標値						
目標値を設定	【2021年】	【2025年】	【2030年】					
	94.5万人	88.8万人	82.2万人					
II.	【2021年】	【2025年】	【2030年】					
	▲2,992人	▲2,000人	▲1,300人					

[賃金水準の向上]

項目	素案(修正前)
賃金水準	モニタリング指標
新規学卒者の所定内給与額	(記載なし)

案(修正後)	現状値	目標値					
目標値を設定	【2019年】 地方圏平均の87% (秋田県 3,530千円 地方圏平均 4,064千円 格差 ▲534千円	【2025年】 地方圏平均の95%	【2030年】 地方圏平均				
"	【2020年】 [大学卒] 全国平均の94% 【秋田県 212.4千円 全国平均 226.0千円 格差 ▲13.6千円 [高校卒] 全国平均の92% 【秋田県 163.9千円 全国平均 177.7千円 格差 ▲13.8千円	【2025年】 [大学卒] 全国平均 [高校卒] 全国平均					

【重点戦略】

	素案(修正前)											
ページ	指標名		実績	責値	目標値							
	担保和	単位	2019	2020	2022	2023	2024	2025				
戦略 1	産業・雇用戦略											
目指	す姿2 地域資源を生かした成長産業	の発展										
P 44	情報関連産業の新商品開発企業数	社	15	l	22	24	26	28				
P 44	(モニタリング指標) 県内情報関連産業の売上高	千万円										
目指	す姿3 歴史と風土に培われた地域産	業の活	性化									
P 47	_											

			案(個	修正後)									
				実績	責値		目標	票値		変更理由			
	内容	指標名	単位	2019	2020	2022	2023	2024	2025				
	戦略 1	産業・雇用戦略											
	目指す姿 2 地域資源を生かした成長産業の発展												
⇒	修正	情報関連産業の新商品開発企業数	社	15	_	<u>24</u>	<u>26</u>	<u>28</u>	<u>30</u>	取組状況を踏まえ、より高い目標値に見直し			
⇒	追加	(成果指標) 県内情報関連産業の売上高	千万円	<u>2, 947</u>	<u>2, 956</u>	3, 447	3,723	<u>4, 021</u>	4, 343	県民所得の増加を目指す上で、労働生産性の高い情報関連産業の成長は欠かすことのできないものであり、目標を掲げて産業の育成を図るべきとの意見があったことを踏まえ、成果指標として目標値を設定			
	目指す姿3 歴史と風土に培われた地域産業の活性化												
⇒	追加	ICT活用工事の実施件数	<u>件</u>	<u>18</u>	<u>28</u>	<u>40</u>	<u>50</u>	<u>60</u>	<u>70</u>	建設産業の振興に関して、ICT等の導入による作業の効率化が急務であり、 進捗を定量的に捉えていくべきとの意見があったことを踏まえ、指標を追加			

		素案(修正前)						
0 12			実績	責値		目標	票値		
ページ	指標名	単位	2019	2020	2022	2023	2024	2025	
戦略2	農林水産戦略								
目指	す姿 1 農業の食料供給力の強化								
P57	(モニタリング指標) 農業産出額	億円							⇒
目指	す姿3 水産業の持続的な発展								
P63	漁業者1人当たりのつくり育てる漁 業対象種生産額	千円	555	657	883	921	960	1, 000	⇒
目指	「 す姿4 農山漁村の活性化								
P 66	中山間地域ブランド特産物数(累 積)	件	_	-	3	6	9	12	⇒
戦略 3	観光・交流戦略								
目指	す姿1 「何度でも訪れたくなるあき	た」の	割出						
P74	観光地点等入込客数(延べ人数)	千人	35, 270	18, 360	28, 000	31, 000	35, 000	37, 000	⇒
P74	延べ宿泊者数	千人泊	3, 654	2, 546	2, 900	3, 000	3, 300	3, 700	⇒
目指	「 す <mark>す多5 国内外との交流と住民の暮ら</mark>	しを支	える交通ス	ネットワ-	-クの構築	7.84 1.04 1.04 1.04 1.04 1.04 1.04 1.04 1.0			
P87	県内空港国内定期航空路線利用者数	千人	1, 435	297	888	1, 386	1,546	1, 591	⇒
戦略 4	未来創造・地域社会戦略								
目指	す姿1 新たな人の流れの創出								
P94	高校生の県内就職率(公私立、全日 制・定時制)	%	67. 7	72. 5	74. 0	76. 0	78. 0	80. 0	⇒
目指	す姿6 行政サービスの向上								
P106	電子申請・届出サービスで提供する 手続数(累積)	件	48	56	134	164	194	224	⇒
<u> </u>	<u> </u>				L				i

			案(個	多正後)										
	内容	指標名		実績	責値		目標	原値		変更理由				
	1.14E	刊示力	単位	2019	2020	2022	2023	2024	2025					
	戦略 2	農林水産戦略												
	目指	す姿 1 農業の食料供給力の強化												
⇒	追加	(成果指標) <u>農業産出額</u>	<u>億円</u>	<u>1, 931</u>	<u>1,898</u>	<u>1, 822</u>	<u>1,879</u>	<u>1, 947</u>	2,000	農業生産全般の実態を表し、県や関係機関、生産者が共有すべき重要な指標であるとの意見があったことを踏まえ、成果指標として目標値を設定				
	目指	す姿3 水産業の持続的な発展												
→	修正	つくり育てる漁業対象種生産額	<u>百万円</u>	<u>393</u>	<u>457</u>	<u>491</u>	<u>507</u>	<u>524</u>	<u>541</u>	漁業者が減少傾向にある中、1人当たりの生産額ではなく、業界全体としての底上げを図り、若者に魅力的な産業へと転換していく観点が必要との意見があったことを踏まえ、指標を変更				
	目指	す姿 4 農山漁村の活性化												
→	修正	中山間地域ブランド特産物数(累 積)	件	<u>22</u>	<u>22</u>	<u>25</u>	<u>28</u>	<u>31</u>	<u>34</u>	既に各地域で認知されている伝統野菜をブランド特産物として捉えること として現状値を設定				
	戦略3	観光・交流戦略												
	目指す姿1 「何度でも訪れたくなるあきた」の創出													
⇒	修正	観光地点等入込客数(延べ人数)	千人	35, 270	18, 360	28, 000	35,000	<u>36, 500</u>	<u>38, 000</u>	インバウンドの動きについては流動的であるものの、アフターコロナにお ける観光需要の反動的回復等を見据え、より高い目標値にすべきとの意見				
⇒	修正	延べ宿泊者数	千人泊	3, 654	2, 546	2, 900	3, 300	3, 700		があったことを踏まえ、目標値を見直し				
	目指	す姿5 国内外との交流と住民の暮ら	しを支	える交通	トットワー	-クの構築	£							
⇒	修正	秋田空港国内定期航空路線利用者数	千人	<u>1, 287</u>	<u>273</u>	<u>675</u>	<u>1, 181</u>	<u>1, 313</u>		空港ごとに利用者数の目標値を示すべきとの意見があったことを踏まえ、				
		大館能代空港国内定期航空路線利用 <u>者数</u>	千人	<u>149</u>	<u>24</u>	<u>219</u>	<u>226</u>	<u>233</u>	<u>240</u>	指標を見直し				
	戦略4	未来創造・地域社会戦略												
	目指	す姿1 新たな人の流れの創出												
→		高校生の県内就職率(公私立、全日 制・定時制)	%	67. 7	72. 5	<u>75. 5</u>	<u>77. 0</u>	<u>78. 5</u>	80.0	現在の高校3年生の就職希望及び内定状況等を踏まえ、目標値を見直し				
	目指	す姿6 行政サービスの向上												
→	修正	行政手続の電子化率	<u>%</u>	_	<u>59. 6</u>	<u>70. 0</u>	80.0	90.0	<u>100.0</u>	行政手続のデジタル化に関して分かりやすい明確な指標にすべきとの意見 があったことを踏まえ、電子メールでの申請等も含めた幅広い行政手続を 対象とした指標に見直し				

									ı			
		素案(修正前)									
o°. 5%	七十五 々		実績値			目標値						
ページ	指標名	単位	2019	2020	2022	2023	2024	2025				
戦略5	戦略 5 健康・医療・福祉戦略											
目指す姿 1 健康寿命日本一の実現												
P114	(モニタリング指標) 健康寿命 (男女別)	年							⇒			
目指	す姿 4 誰もが安全・安心を実感でき	る地域	共生社会(の実現								
P124	(モニタリング指標) 自殺者数	人							⇒			
戦略 6	教育・人づくり戦略											
目指 [·]	す姿 1 秋田の将来を支える高い志に	あふれ	る人材の育	育成								
P 131	高校生の県内就職率(公私立、全日 制・定時制)	%	67.7	72. 5	74. 0	76. 0	78. 0	80. 0	⇒			
目指 [·]	す姿 5 地域社会の活性化と産業振興	に資す	る高等教育	育機関の	機能の強化	Ľ						
P 143	県内高卒者の県内・短大への進学率	%	29. 0	31. 2	31. 2	31. 4	31.6	31. 8	⇒			

			案(修	修正後)										
	内容	指標名		実績	責値		目標	票値		変更理由				
	FI在	1日1示石	単位	2019	2020	2022 2023 2024 2025		2025						
	戦略5	健康・医療・福祉戦略												
	目指す姿 1 健康寿命日本一の実現													
⇒		(成果指標) 健康寿命(男性)	生	<u>72. 61</u>		<u>73. 91</u>				県や関係機関、県民が一丸となって目指すべき重要な指標であるとの意見				
⇒		(成果指標) 健康寿命(女性)	<u>年</u>	<u>76. 00</u>		<u>77. 38</u>			<u>78. 75</u>	があったことを踏まえ、成果指標として目標値を設定				
	目指す姿 4 誰もが安全・安心を実感できる地域共生社会の実現													
⇒	削除	(指標から削除)								成果指標である「自殺による人口10万人当たり死亡率」により、効果の検 証は可能であることから、指標から削除				
	戦略6	教育・人づくり戦略												
	目指	す姿1 秋田の将来を支える高い志に	あふれる	る人材の習	育成									
⇒	修正	高校生の県内就職率(公私立、全日 制・定時制)	%	67. 7	72. 5	<u>75. 5</u>	<u>77. 0</u>	<u>78. 5</u>	80. 0	現在の高校3年生の就職希望及び内定状況等を踏まえ、目標値を見直し				
	目指	す姿 5 地域社会の活性化と産業振興	に資する	る高等教育	育機関の機	幾能の強化	5							
⇒	修正	県内高卒者の県内大学・短大・ <u>専修</u> 学校等への進学率	%	31. 4	33. 7	<u>33. 7</u>	<u>33. 9</u>	<u>34. 1</u>		県内就職率が高く、地元企業の即戦力となる県内の専修学校への高校生の 進学を促進することも重要であるとの意見があったことから、指標を見直 し				

【基本政策】

· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·											
	素案(修正前)									
松無力		実績	責値	目標値							
指標名	単位	2019	2020	2022	2023	2024	2025				
基本政策 1 防災減災・交通基盤											
目指す姿 1 強靱な県土の実現と防災力の強化											
自主防災組織の組織率	%	71. 1	71. 2	73. 1	74. 5	76. 2	77. 9				
(モニタリング指標) 防災アドバイザーの派遣回数	口										
(モニタリング指標) 港湾における津波避難施設の設置数	箇所										
策2 生活環境											
す姿3 安らげる生活基盤の創出											
生活排水処理場数	箇所	233	226	223	213	209	207				
策3 自然環境											
す姿2 豊かな自然の保全											
自然環境学習拠点施設の利用者数	人	9, 172	8, 448	9,000	9, 130	9, 260	9, 400				
	す姿 1 強靱な県土の実現と防災力の 自主防災組織の組織率 (モニタリング指標) 防災アドバイザーの派遣回数 (モニタリング指標) 港湾における津波避難施設の設置数 策 2 生活環境 す姿 3 安らげる生活基盤の創出 生活排水処理場数 策 3 自然環境 す姿 2 豊かな自然の保全	指標名 単位 策1 防災減災・交通基盤 す姿1 強靱な県土の実現と防災力の強化 自主防災組織の組織率	指標名 単位 2019 単位 2019 第 1 防災減災・交通基盤 す姿 1 強靱な県土の実現と防災力の強化 自主防災組織の組織率 % 71.1 (モニタリング指標) 防災アドバイザーの派遣回数 箇所 港湾における津波避難施設の設置数 箇所 港2 生活環境 す姿 3 安らげる生活基盤の創出 生活排水処理場数 箇所 233 策 3 自然環境 す姿 2 豊かな自然の保全	### 実績値 単位 2019 2020 まま	実績値 単位 2019 2020 2022 2029 2019 2020 2022 2020 2022 2020 2022 2020 2	実績値 目標	指標名 実績値 目標値 策1 防災減災・交通基盤 す姿1 強靭な県土の実現と防災力の強化 自主防災組織の組織率 % 71.1 71.2 73.1 74.5 76.2 (モニタリング指標) 防災アドバイザーの派遣回数 回 回 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 23.1 20.2 22.3 21.3 20.9 策3 自然環境 す姿2 豊かな自然の保全				

		案(作	多正後)										
内容	指標名 -		実績	実績値		目標値			変更理由				
门谷	担保石	単位	2019	2020	2022	2023	2024	2025					
基本政	基本政策1 防災減災・交通基盤												
目指	目指す姿 1 強靱な県土の実現と防災力の強化												
修正	自主防災組織の組織率	%	71. 1	71. 2	<u>72. 5</u>	<u>73. 3</u>	<u>74. 1</u>	74.9	10年後に全国平均である84.3%を目指すものであるが、進捗状況も踏まえて目標値を見直し				
削除	(指標から削除)								個別事業の業績的要素が強いため、事業を進める上での目標として進捗を 管理していくこととし、指標から削除				
削除	(指標から削除)								個別事業の業績的要素が強いため、事業を進める上での目標として進捗を 管理していくこととし、指標から削除				
基本政	策2 生活環境												
目指	す姿3 安らげる生活基盤の創出												
修正	生活排水処理場数	箇所	233	226	216	<u>206</u>	202	200	取組状況を踏まえ、より高い目標値に見直し				
基本政	策3 自然環境												
目指	す姿2 豊かな自然の保全												
修正	自然環境学習拠点施設 <u>等</u> の利用者数	人	34, 879	24, 326	26, 000	<u>29, 000</u>	32,000	35,000	自然環境学習拠点だけではなく、生物多様性について学ぶことができるビ ジターセンター等も含んだ利用者数に見直し				

[※] 素案で「モニタリング指標」と表現していたものについては、名称を「経過検証指標」に修正。